

製品名: β -1,3-Gal-T1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20338**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	B3GALT1
別名	B3GALT1; Beta-1; 3-galactosyltransferase 1; Beta-1,3-GalTase 1; Beta3Gal-T1; Beta3GalT1; UDP-galactose:beta-N-acetyl-glucosamine-beta-1,3-galactosyltransferase 1
遺伝子 ID	8708.0
SwissProt ID	Q9Y5Z6
免疫原	抗血清はヒト B3GALT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

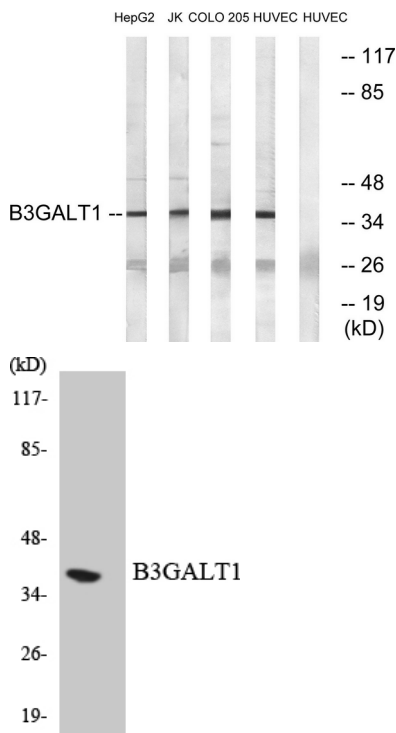
この遺伝子は、 β -1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ (β 3GalT) 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーは、異なるド

ナー基質 (UDP-ガラクトースおよび UDP-N-アセチルグルコサミン) と異なるアクセプター糖 (N-アセチルグルコサミン、ガラクトース、N-アセチルガラクトサミン) を用いて多様な酵素機能を発揮する II 型膜結合型糖タンパク質をコードしています。β3GalT 遺伝子はショウジョウバエの Brainiac 遺伝子と遠縁であり、タンパク質コード配列は単一のエクソンに含まれています。β3GalT タンパク質には、β4GalT タンパク質や α3GalT タンパク質には見られない保存配列も含まれています。これらの酵素によって合成される糖鎖はタイプ 1 型と呼ばれ、β4GalT 酵素はタイプ 2 型の糖鎖を合成します。タイプ 1 型とタイプ 2 型の糖鎖の比率は、胚発生中に変化します。配列類似性により、beta3GalT 遺伝子は少なくとも 2 つのグループ、すなわち beta3GalT4 と他の 4 つの beta3 補因子に分類されます。、function:β-1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼは、UDP-ガラクトースから末端 β-N-アセチルグルコサミン (β-GlcNAc) 残基を持つ基質へガラクトースを転移します。糖脂質および糖タンパク質の炭水化物部分の生合成に関与します。末端 α-N-アセチルグルコサミン (α-GlcNAc) または α-N-アセチルガラクトサミン (α-GalNAc) 残基を持つ基質に対しては不活性です。、online information:β-1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ 1,online information:GlycoGene database,pathway:Protein modification;タンパク質の糖化。、類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 31 ファミリーに属する。、組織特異性:脳と結腸粘膜で検出され、結腸腺癌細胞でもわずかに検出される。、

研究分野

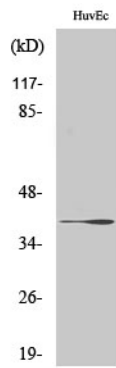
スフィンゴ糖脂質の生合成;

画像データ



B3GALT1 抗体を用いた HUVEC、COLO、Jurkat、HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。

B3GALT1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



β -1,3-Gal-T1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。